



JOIC Open-Innovation Acceleration Academy

「JOIC-OIA」説明会

※説明会開始まで今しばらくお待ちください。



JOIC Open-Innovation Acceleration Academy

「JOIC-OIA」説明会

JOIC運営事務局

2026年8月

- 1.事務局よりご挨拶
- 2.オープンイノベーション・ベンチャー創造協議会
／ JOIC (Japan Open Innovation Council)
のご説明
- 3.JOIC Open-Innovation Acceralation Academy
(JOIC-OIA) のご説明
- 4.質疑応答

- 1.事務局よりご挨拶
- 2.オープンイノベーション・ベンチャー創造協議会
／ JOIC (Japan Open Innovation Council)
のご説明
- 3.JOIC Open-Innovation Acceralation Academy
(JOIC-OIA) のご説明
- 4.質疑応答

**スタートアップ支援部 NEP・人材支援・
オープンイノベーション促進チーム
チーム長**

馬場 大輔 氏

- 1.事務局よりご挨拶
- 2.オープンイノベーション・ベンチャー創造協議会
／ JOIC (Japan Open Innovation Council)
のご説明
- 3.JOIC Open-Innovation Acceralation Academy
(JOIC-OIA) のご説明
- 4.質疑応答

JOICは事業会社とスタートアップをつなぐ オープンイノベーション推進プラットフォームです



企業の内と外がつながり、壁を突き破る

すべてをつなぎ、新たな価値を創出する

JOICは事業者主体のオープンイノベーションを推進し、
次世代を担う企業群の形成を支援するプラットフォームです

 新規会員登録

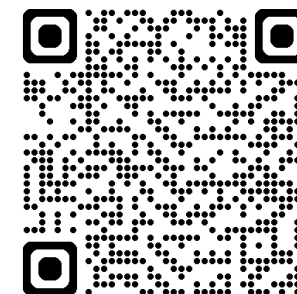


Topics

最新情報一覧 

- | | | | |
|------|-----------------|-----|--|
| メルマガ | 2026年06月22日 (月) | NEW | メールマガジン「オープンイノベーション・ベンチャー創造協議会 Information Shi |
| お知らせ | 2026年06月17日 (水) | NEW | 第9回 日本オープンイノベーション大賞の応募開始について |
| メルマガ | 2026年06月15日 (月) | NEW | メールマガジン「オープンイノベーション・ベンチャー創造協議会 Information ... |
| メルマガ | 2026年06月08日 (月) | NEW | メールマガジン「オープンイノベーション・ベンチャー創造協議会 Information ... |
| イベント | 2026年06月04日 (木) | NEW | 「ディープテック・スタートアップと連携する面白さ〜まずはやってみよう！実践者... |

JOIC HPはこちらから▼



JOICでは事業会社とのオープンイノベーションや、スタートアップの最新動向入手できます

JOICを通じてできること

＼ そのお悩み、JOIC会員であれば解決できます！ ／

お悩み

JOIC会員ソリューション

お悩み解決！

オープンイノベーションに
チャレンジしたいが、
やり方がわからない・・・

スタートアップを知る

- ✓ メールマガジン
- ✓ スタートアップカオスマップ
- ✓ スタートアップ検索

NEDOのピッチに参加して
大企業やスタートアップの
事例をしり、
交流することができた

オープンイノベーションの事例
や
魅力的なスタートアップの
事例を見つけた！
もっと調べたい・・・

イベントに参加する

- ✓ NEDOピッチイベント
- ✓ 各種ワークショップ参加

一括検索で効率よく
有望な企業検索することが
できた

どうやって
気になるスタートアップと
繋がればいいんだ・・・

連携する

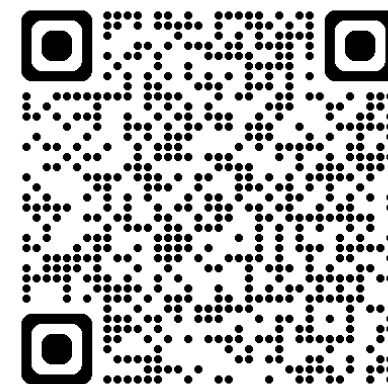
- ✓ スタートアップマッチング
- ✓ スタートアップカオスマップ
- ✓ オープンイノベーション事例

事務局経由で
安心して気になる企業と
繋がることができた

会員登録は無料です

業界の垣根を越えて産業界・経済界全体としての活動を企画・推進し、官民一体となってオープンイノベーションを推進するために活動しております。

JOIC会員登録はこちらから▼



JOICではオープンイノベーションの機会創出や実行に関する研修を通して、ベンチャー創造の循環を形成しています



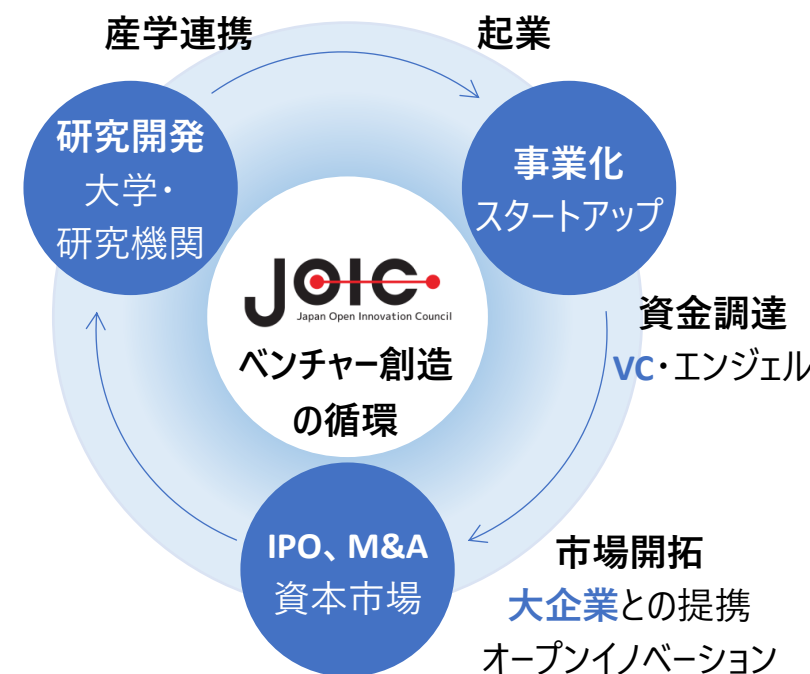
オープンイノベーション・ベンチャー創造協議会 / JOIC (Japan Open Innovation Council)



- 民間事業者の「オープンイノベーション」の取組を推進するとともに、「ベンチャー宣言」を実現することにより、我が国産業のイノベーションの創出及び競争力の強化に寄与することを目的として設立された組織です。



オープンイノベーション・
ベンチャー創造協議会



オープンイノベーションの機会創出

ピッチイベント

- NEDOピッチ 9/1(火)に実施予定
- NEDOドリームピッチ 9/9(水)~9/11(金)に実施予定
- NEDOプライベートピッチ (事業会社1社に対して実施するイベント)

その他支援

- ディープテック・スタートアップに対するプッシュ型伴走支援
- ディープテック・スタートアップに関する情報提供

その他
イベントも
随時開催!



▲ NEDOピッチの様子

オープンイノベーションの実行に関わる研修 ワークショップ (JOIC-OIA) 2026年実施予定内容 (詳細は後頁でご説明)

- 第1回：イノベーション戦略の策定
- 第2回：SU探索と共創仮説の構築 (アイディエーション)
- 第3回：推進体制・ビジネスモデルの構築
- 第4回：リバーспitch

ディープテックスタートアップ固有の課題は、 事業会社との共創が重要な解決手段の1つとなります

ディープテックスタートアップとは

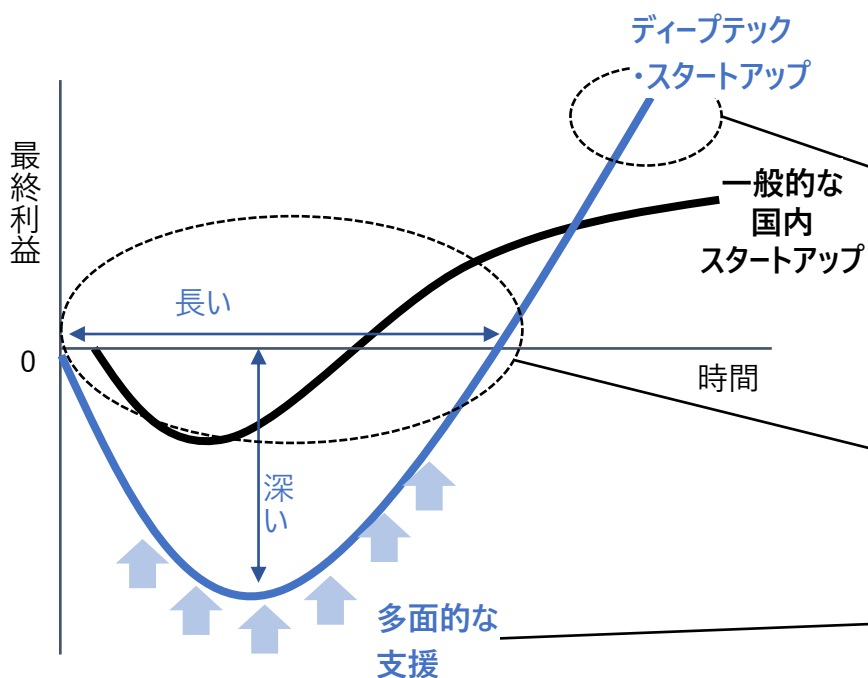


大学や研究機関等で培われた科学的な発見や高度な技術を基に、
世界の重大な課題解決と急成長を目指す企業



ディープテックスタートアップの成長曲線と成長に必要な要素

ディープテックスタートアップの成長曲線



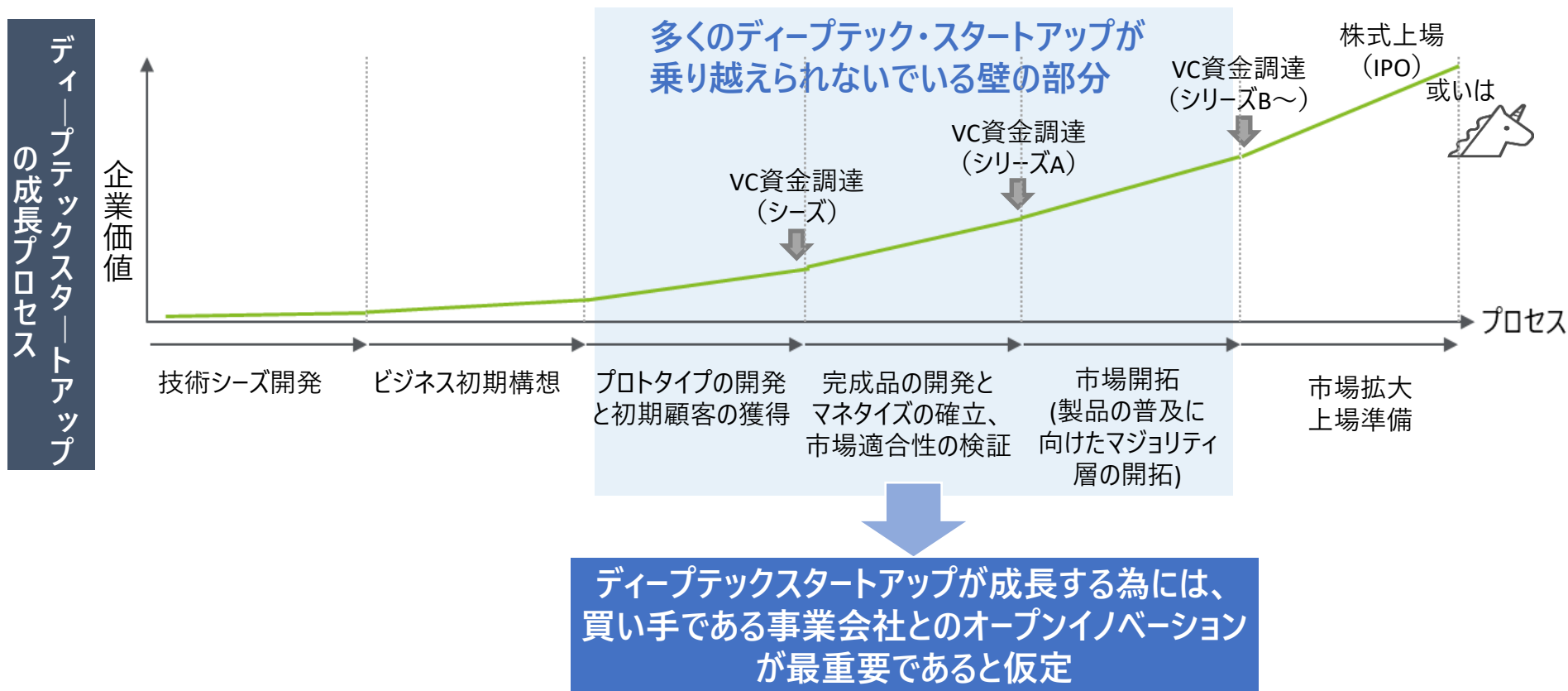
ディープテックスタートアップの成長に向けた課題と解決策

課題	解決策
グローバル展開が必須	事業会社の海外拠点・関連会社等との連携を通じて、現地の市場知見の獲得や法規制対応、標準化を推進
ピボットの難しさ	同時に複数の用途開発を仮定し各用途領域における大企業と共創先することで、仮説の検証を効率的・効果的に行う
リソース不足	経営資源を豊富に持つ大企業等と連携/共創することが重要

オープンイノベーションの推進・成功には、事業会社における スタートアップ理解・オープンイノベーション推進が重要です

ディープテック・スタートアップの企業価値向上における重要な観点

- ＞ ディープテック・スタートアップの成長プロセスを紐解くと、プロトタイプ開発後、売上創出に向けた市場開拓は、多くの企業にとって乗り越えられない壁となっている。
- ＞ 製品・サービスの売買は『売り手』のスタートアップの提案・導入サポートのみならず、『買い手』である事業会社側の課題・ニーズ理解/意思決定プロセスにおけるサポートも重要



- 1.事務局よりご挨拶
- 2.オープンイノベーション・ベンチャー創造協議会
／ JOIC (Japan Open Innovation Council)
のご説明
- 3.JOIC Open-Innovation Acceralation Academy
(JOIC-OIA) のご説明
- 4.質疑応答

オープンイノベーションの実行者となる事業会社のご担当者を対象として JOIC Open-Innovation Acceralation Academyを実施致します



JOIC Open-Innovation Acceralation Academy（JOIC-OIA）の概要

目的	＞ ディープテック・スタートアップのオープンイノベーションを推進し、 <u>JOIC会員の模範となる成功事例を創出すること</u>
対象者	＞ 事業会社の中で共創を目的とする <u>新規事業等の担当者</u>
特徴	＞ 事業会社の新規事業・共創担当者が主体的にオープンイノベーションを自走する基礎スキル・知見の習得を行う ＞ <u>自社の共創事業を実行する人材を育てる</u>
目指す人材像の例	＞ 自社の中期経営計画と新規事業・共創とのつながりを理解している人材 ＞ 自社の共創テーマを主体的に企画できる人材 ＞ 共創の現場で、社内外を巻き込み共創をリードできる人材
公募期間	＞ 2026年8月17日～2026年9月7日
定員	＞ <u>30名程度</u> を定員とする。1社あたり最大3名まで応募可能。

オープンイノベーションの実現に向け、戦略策定から 実証計画までのワークショップを実施致します



各日程のテーマ及びアジェンダと開催日時・会場

テーマ	アジェンダ	想定実施日時	会場	
DAY1	オープンイノベーション戦略概論	10/8(木)	NEDO高輪 ゲートウェイオフィス	
イノベーション戦略 の策定	トップランナーのご登壇・パネル			
	シナリオプランニング			
DAY2	自社リソース・強みの棚卸し	10/15(木)		
SU探索と共創仮説の構築 (アイディエーション)	スタートアップ調査・探索・分析			
	SUとの共創仮説の発想			
	ビジネスモデルの検討			
～DAY2において出される課題の対応及び事務局によるフォロー期間～				
DAY3	OPEN & CLOSE戦略	11/19(木)		
推進体制・ ビジネスモデルの構築	既存事業の巻き込み（ご登壇）			
	実証計画の基礎			
	実証計画の策定			
DAY4	共創ニーズの発信	12/17(木)	調整中	
リバースピッチ				

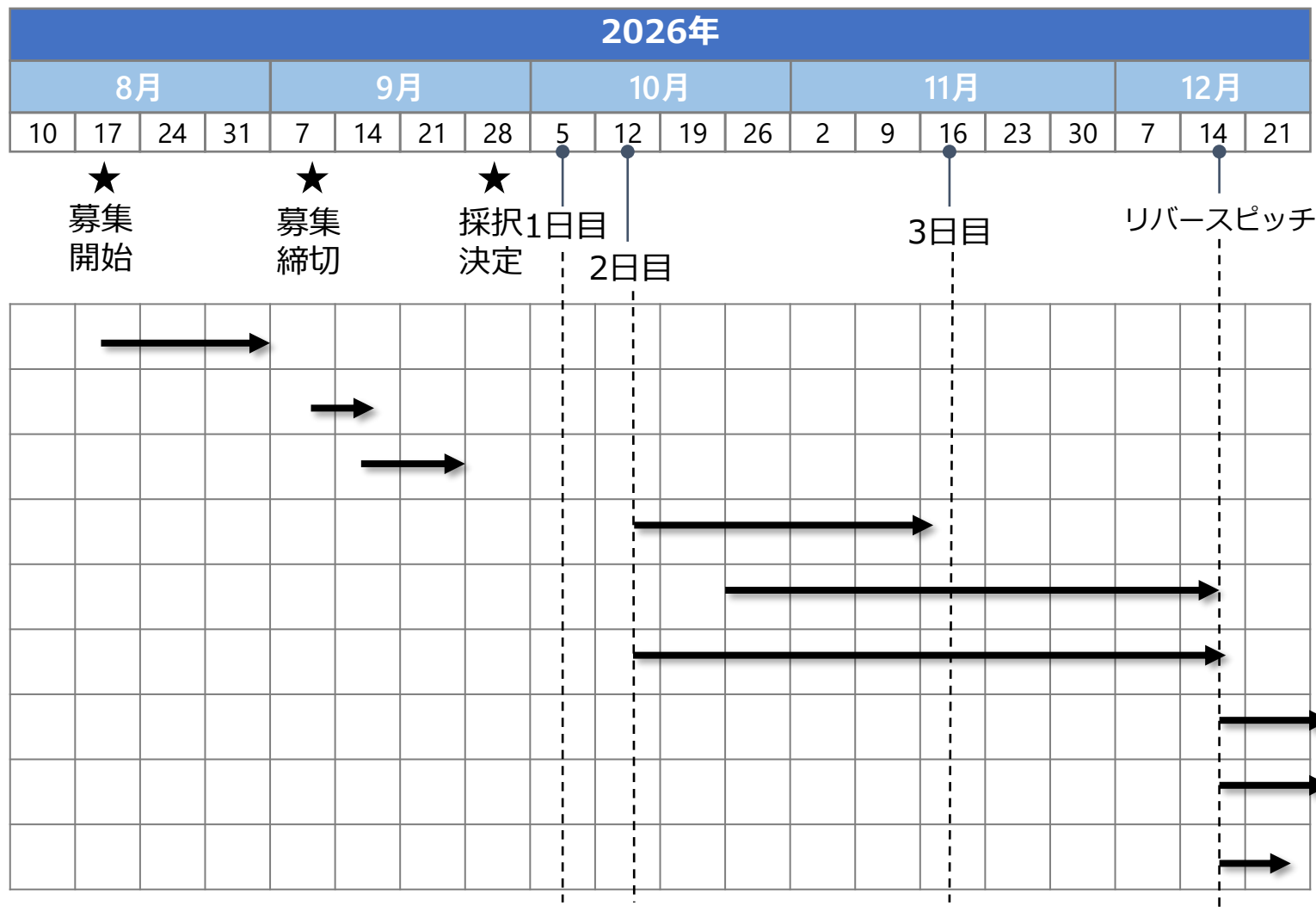
9月7日に応募締め切りの後、書類確認・面談を行い、 10月～12月にかけてプログラムを実施致します



選考からワークショップ実施までのスケジュール

凡例

	参加者が実施
	事務局が実施



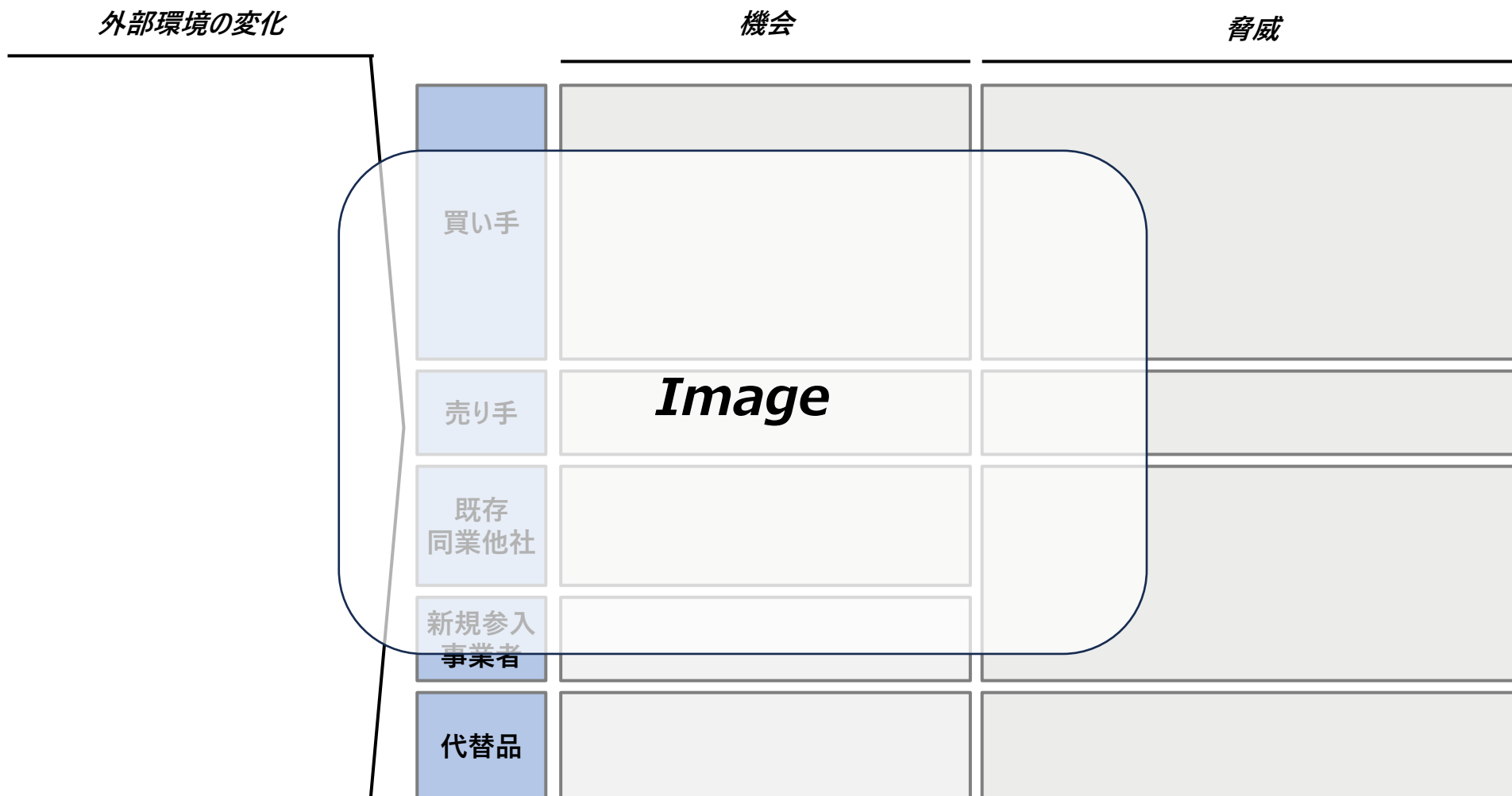
*希望者のみ

講義における講師陣等のご紹介

DAY1	オープンイノベーション戦略概論		松岡 巖 新規技術開発について、戦略策定から導入等のハンズオン支援、研究開発組織の再編等に強みを持つ (デロイトトーマツ スペース アンド セキュリティ合同会社)
イノベーション戦略の策定	トップランナーのご登壇・パネル		
	シナリオプランニング		
DAY2	自社リソース・強みの棚卸し		平清水 元宣 大学発ベンチャーの創業・バリューアップ支援や大企業と研究開発型スタートアップの共創支援に注力 (デロイトトーマツベンチャーサポート(株) スタートアップ事業部)
SU探索と共創仮説の構築 (アイディエーション)	スタートアップ調査・探索・分析		
	SUとの共創仮説の発想		
	ビジネスモデルの検討		
DAY3	OPEN & CLOSE戦略		峰 岳広 製造業に対する事業戦略立案、M&A戦略立案、知的財産戦略立案に関するコンサルティング業務を専門とする (合同会社デロイトトーマツ 知的財産アドバイザー)
推進体制・ビジネスモデルの構築	既存事業の巻き込み(ご登壇)		
	実証計画の基礎		
DAY4	実証計画の策定		原 諒 大企業とスタートアップのオープンイノベーション、実証実験・PoC、及び社会実装推進事業の複数統括経験を有する (デロイトトーマツベンチャーサポート(株) スタートアップ事業部)
	共創ニーズの発信		
	リバースピッチ		
		本プログラム参加者のうち、共創ニーズの発信によって共創先の探索を実践を目指す方 (※期中に決定予定)	

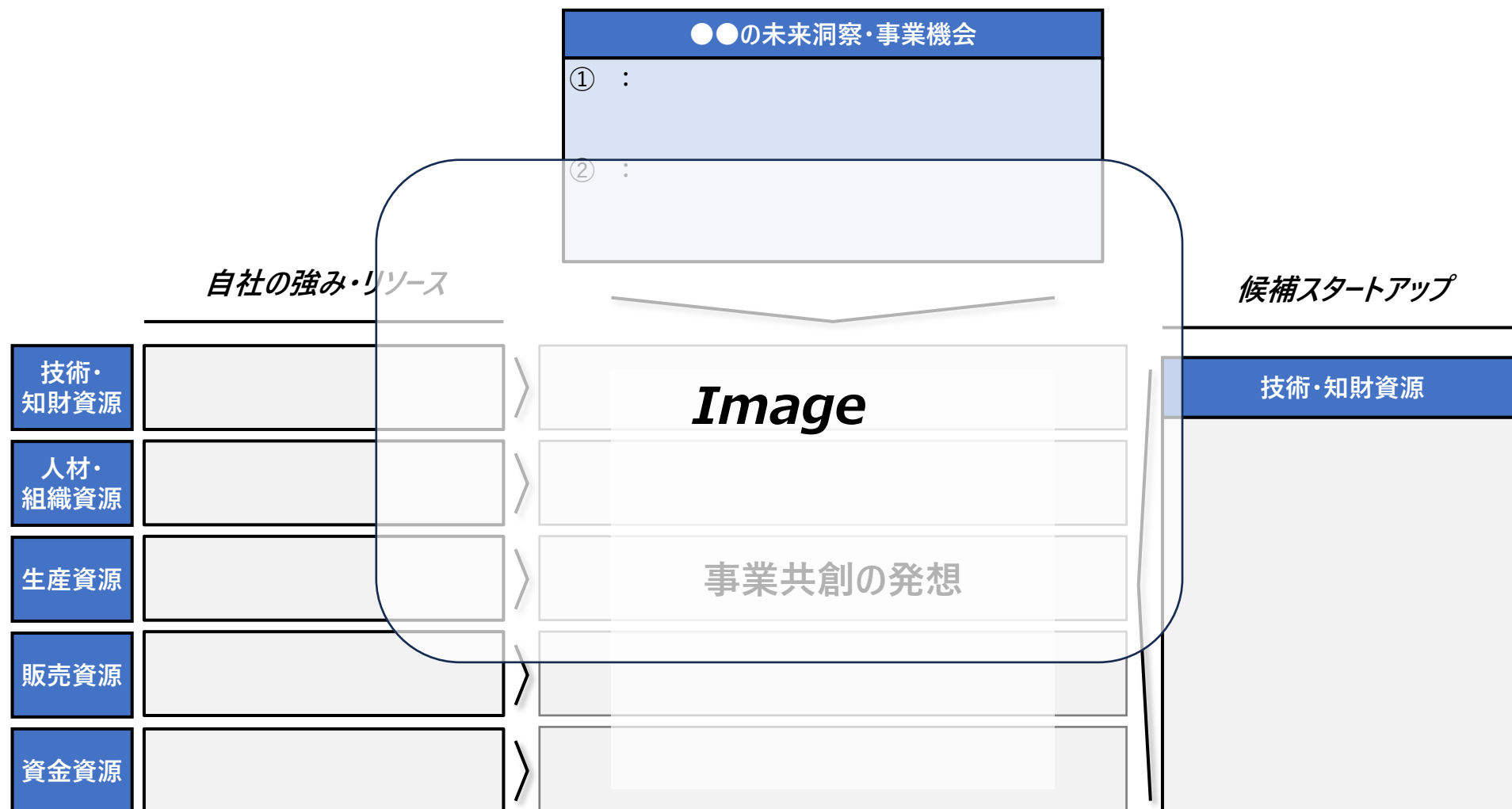
各日程共に講義と併せて、ワークによる演習を実施し、実践への理解を深めて頂く想定です

ワークショップにおけるアウトプットイメージ（未来洞察・想定事業機会）



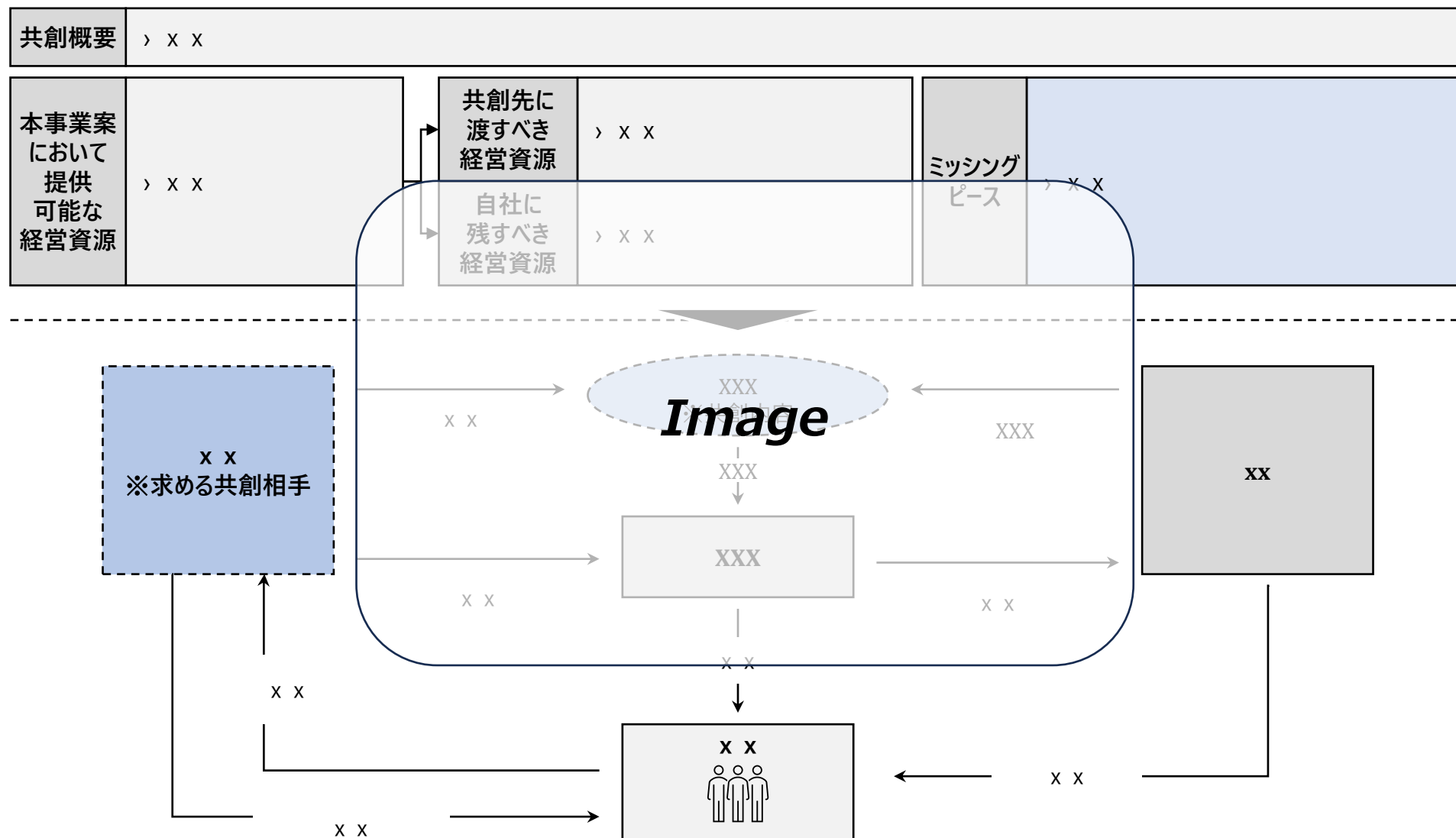
各日程共に講義と併せて、ワークによる演習を実施し、実践への理解を深めて頂く想定です

ワークショップにおけるアウトプットイメージ（SUとの共創仮説の発想）



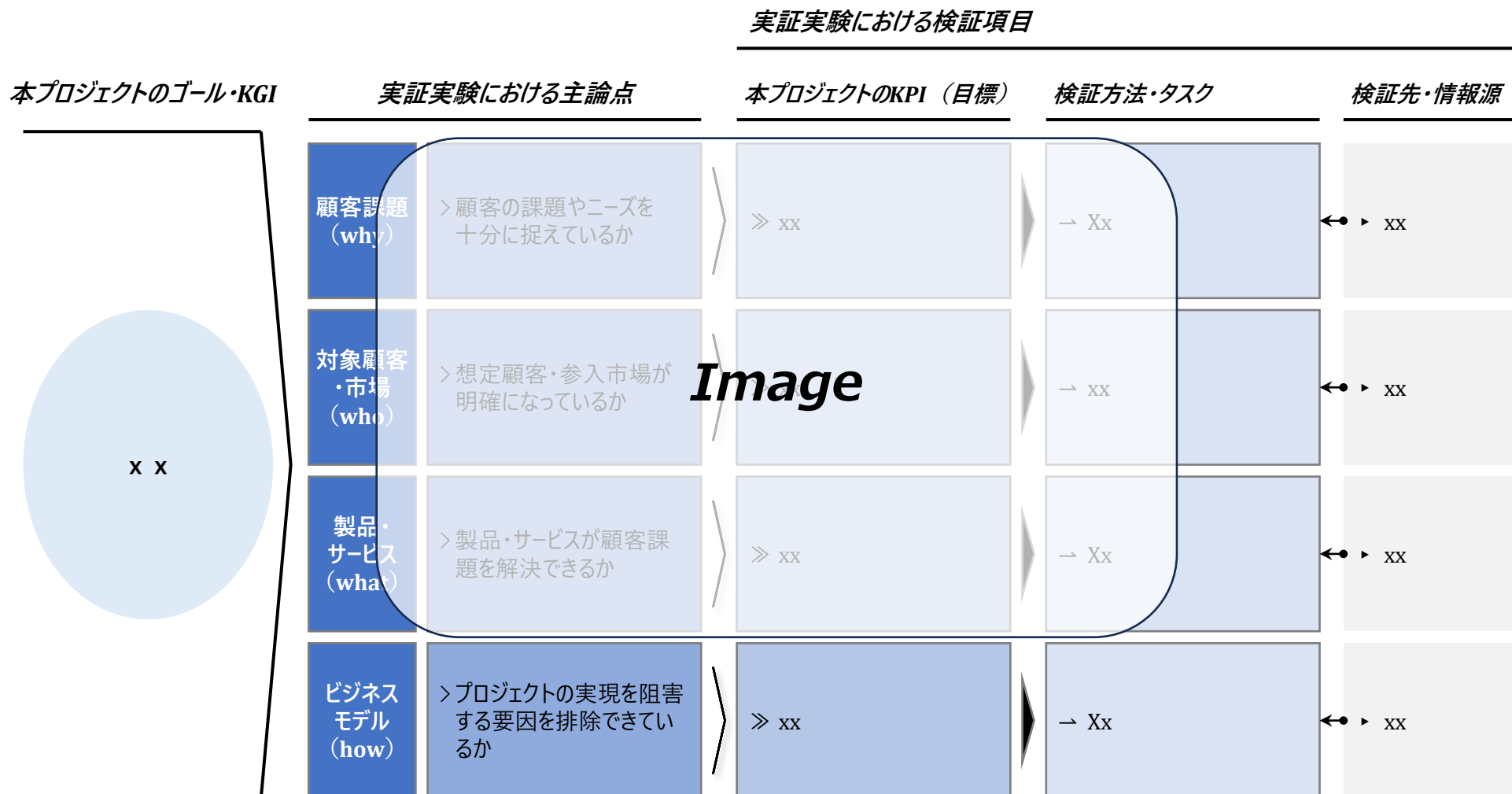
各日程共に講義と併せて、ワークによる演習を実施し、実践への理解を深めて頂く想定です

ワークショップにおけるアウトプットイメージ（ビジネスモデルの検討）

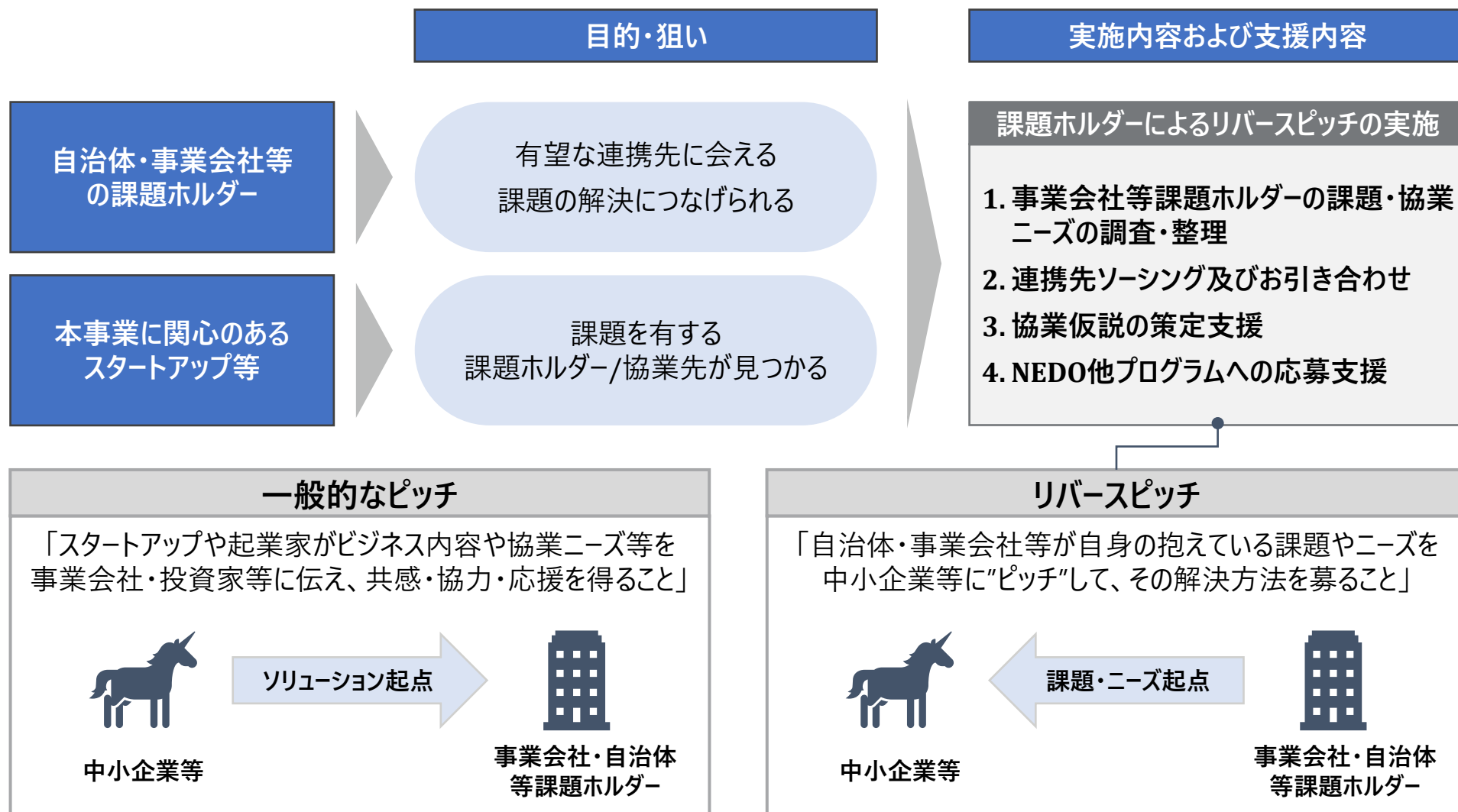


各日程共に講義と併せて、ワークによる演習を実施し、実践への理解を深めて頂く想定です

ワークショップにおけるアウトプットイメージ（実証計画の策定）



最終日のリバーспitchでは自社が抱える課題や事業ニーズ、共創テーマについての発信を行い、共創機会の創出を行います



8月17日より応募を開始しております（9月7日まで）



NEDOHPの公募情報よりご確認ください



- 1.事務局よりご挨拶
- 2.オープンイノベーション・ベンチャー創造協議会
／ JOIC (Japan Open Innovation Council)
のご説明
- 3.JOIC Open-Innovation Acceralation Academy
(JOIC-OIA) のご説明
- 4.質疑応答

チャットにご記載をお願い致します



JOIC-OIA公募ページ

- | | |
|----|---|
| Q1 | ＞ NEDOのSSA（Startup Supporters Academy）との違いは何ですか。どちらに応募すべきでしょうか。 |
| A1 | ＞ SSAは、スタートアップを外部から支援する側の人材を養成する講座です。これに対しJOIC-OIAは、事業会社が自社の事業としてオープンイノベーションを推進する側の人材を養成します。 |
| Q2 | ＞ DAY4のリバースピーチでは自社の課題を外部に発信することだと思いますが、誰に向けて、どこまで発信するのですか。 |
| A2 | ＞ 公開可能な範囲での課題や事業ニーズの発信を想定しており、機微な情報の開示を求めるものではありません。聴講者は、スタートアップをはじめとした共創先として、本講座ご参加者以外の方々も想定しています。 |
| Q3 | ＞ DAY1～4の実施時間はそれぞれの程度でしょうか。また、オンラインや代理での出席は可能でしょうか。 |
| A3 | ＞ 各回ともに終了後の交流会も含め14時頃開始～18時頃終了を想定しております。原則、対面実施で、オンラインや代理の方の出席は想定しておりません。（※期中にやむを得ず出席が難しくなった場合は事務局にご相談ください） |